

# 補助金評価シート(平成23年度実績分)

## (1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
911111	ソバ、大豆刈取補助金	産業振興課	農政係	中村良治	足助和実	
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2141	
補助金事業実施の根拠 位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	予算コード	事業名(歳出予算見積書)		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0603	農業振興事業		
	第五次総合計画後期基本計画の 施策体系における位置づけ		章 (コード選択)	1章	豊かな自然環境を育む活かすまちづくり	
			節 (コード選択)	1節	豊かな自然の保全と創出	
			項[基本施策] (コード選択)	1項	豊かな自然環境と田園風景の保全	
			目[主な施策] (コード選択)	1目	田園風景の保全	
	関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他			
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始)	17 年度 ~ (終了予定)	年度		
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱 等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称: )				
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり	( 町 / 10 )	( 県 / 10 )	( 国 / 10 )		

## (2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等  公益法人  企業や団体  個人

( 交付団体名 : 営農団体及び認定農業者 )

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

米の生産調整のため、転作田に奨励作物であるソバ・大豆を振興するため、面積を集約して作付け・出荷した農家に対して補助する。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1 各営農組合・認定農業者に転作田の栽培作物として、ソバ・大豆の作付けを奨励する。

2

## (3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
① 指標名	ソバ・大豆の刈り取り面積	a	5,680	6,060	7,000	0.87	7,000
① 説明	ソバ・大豆の刈り取り面積	目標値設定の根拠	ソバ・大豆の刈り取り面積				
② 指標名					#DIV/0!		0
② 説明		目標値設定の根拠					

## (4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度				
事業費(円)		5,838,580	5,680,000	7,000,000	7,300,000				
補助率(町負担分)		17.1%	17.6%	14.3%	13.7%				
町交付額(一般財源)(円)		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000				
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	4,838,580	4,680,000	6,000,000	6,300,000				
	一般財源	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000				
人件費の概算		(千円)							
対前年比		%							
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H21 H22 H23 H24	/	/	/
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.08 0.08 0.08	0.00 0.08 0.08 0.08	524	500	485
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっております。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	0	0	0

**(5) 補助金の効果の評価 [Check]**

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	特に農業生産者
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	水田農業、遊休荒廃地防止のため。
目的妥当性	この補助金は広く町民のために なっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	農業者に特定されるが、自然環境の保全 全面から見ると町民全体といえる。
	この補助金の支出は、町が税金 を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	国の農業施策上必要
有効性	事業の効果が具体的に把握で きているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	ソバ、大豆作付け面積の拡大、農地の 荒廃防止になっている。
	補助金を交付することで期待さ れた成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	ソバ、大豆の産地づくりになっている。
公平性	対象者すべてに補助金が交付 されているか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	転作確認でソバ、大豆の作付けを確認
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	町の奨励作物を作付けすることにより、 農地の荒廃防止に役立っている。
	補助金等の交付により町に どれだけメリットがあるか		国の水田農業施策上、農地の荒廃が進むのは避けられない状況。農地の保全管理と生産組織の育成と産地づくりを行うために必要。		

**(6) 改革改善 [Action]**

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

**<今後の展開方針> (イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)**

- a 増額する  
 b 減額する  
 c その他(隔年対応等)

**(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)**

時期(年度)	
--------	--

**事業の方向性の具体化**

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	24年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
転作における主要作物を増加させるため必要。	[反映内容] 定額で100万円

**(7) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)**

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
戸別所得補償制度の取り組みとして戦略作物、地域とも補償では振興作物として取り組みを実施。観光面では、そば店マップの作成などの取り組みをしているので作付け面積の増加を図ることも必要のため継続実施。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     
  イ. 見直しのうえで継続する     
  ウ. 終期設定     
  エ. 廃止     
  オ. 休止

➡  上記 a ~ c を選択